

(別紙)

開催要領

国際シンポジウム 2023 「Frontiers in the development and application of plant phenotyping: What are we seeking in plant phenotyping? ～ 植物表現型解析の開発と応用のフロンティア ～」の開催

1. 趣旨

「ムーンショット型農林水産研究開発事業」における研究課題「サイバーフィジカルシステムを利用した作物強靱化による食料リスクゼロの実現」では、野生植物などが持つ生物機能をフル活用し環境適応力の高い作物を迅速かつ自在に開発できる新技術「作物サイバー強靱化」を開発することにより、食料リスクを解決し、持続可能な開発目標 (SDGs) の実現に貢献することを目標として、研究を開始しました。

現在、我々人類が食料として利用している植物は限られており、近年の環境変動はその生産に甚大な被害をもたらすといわれています。一方で、野生植物は環境適応に対して高いポテンシャルを持っています。本プロジェクトでは、これらが持つ強靱なストレス耐性特異プロセスを理解し、作物育種に利用できる技術の開発を目指しています。野生植物など植物遺伝資源の持つユニークなストレス耐性を発見し、育種に活用するためには、表現型を詳細に計測できるフェノタイピング技術が必要となります。

今回、フェノタイピング技術の開発とその活用事例について国内外の研究動向を共有し、環境ストレスに強靱な作物を開発するうえで、これらの技術の可能性について議論することを目的として、シンポジウムを開催します。

2. 開催日時・会場等

2023年(令和5年)10月12日(木曜日)10時00分～17時00分

会場: 東京大学弥生講堂 一条ホール(東京都文京区弥生 1-1-1)

オンライン同時開催 (Zoom ウェビナー、参加登録いただいた方へご案内をお送りいたします。)

3. 使用言語

英語(同時通訳なし)

4. プログラム

- 10:00~10:10 **【開会の挨拶】**
・千葉一裕プログラムディレクター（東京農工大学）
- 10:10~11:50 **【講演3題】**
・Lee Hickey（オーストラリア、The University of Queensland）
・Michael Gomez Selvaraj（コロンビア、International Center for Tropical Agriculture）
・郭 威（東京大学大学院農学生命科学研究科）
- 11:50~13:20 **昼食**
- 13:20~14:50 **【講演3題】**
・宇賀 優作（農研機構）
・Borjana Arsova（ドイツ、Jülich Plant Phenotyping Center）
・Christophe Salon（フランス、INRAe）
- 14:50~15:10 **休憩**
- 15:10~16:10 **【講演2題】**
・Rick van de Zedde（オランダ、Wageningen Plant Research）
・藤田 美紀（理化学研究所）
- 16:10~16:30 **【プロジェクト成果紹介】**
・藤原徹プロジェクトマネージャー（東京大学大学院農学生命科学研究科）
- 16:30~16:55 **【総合討論】**
- 16:55~17:00 **【閉会の挨拶】**
・藤原徹プロジェクトマネージャー（東京大学大学院農学生命科学研究科）

（当日の状況によって発表内容に一部変更が生じ、時間が変更となる場合もございます。あらかじめご了承ください。）

5. 主催者

ムーンショット型農林水産研究開発事業「作物サイバー強靱化コンソーシアム」

6. 共催者

生物系特定産業技術研究支援センター

7. 後援

東京大学大学院農学生命科学研究科、農研機構

8. 参加費:無料

9. 参加申し込み方法

参加登録は、以下の URL からお願いいたします。

<https://forms.gle/Y5ybQiBsxf5DGDev5>

【申し込み締切】2023 年(令和 5 年)10 月 4 日(水曜日)17 時 00 分

【定員】会場:先着 300 名、オンライン:1,000 名まで
(締切前でも、定員になり次第申し込みを締め切ります)

10. 事務局

作物サイバー強靱化コンソーシアム シンポジウム 2023 事務局

moonshot5TF(at)naro.affrc.go.jp *(at)は"@"に変更してください